



広い心

学校便り 12号
令和7年 10月31日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

全宮古小学校陸上競技大会



10月18日(土)、全宮古小学校陸上競技大会が、宮古島市陸上競技場で行われました。狩俣小からは、3年生から6年生までの8名の児童が出場しました。上位入賞者としては、3年生女子100mの紅寧さんが(1位)、共通ジャベリックスローの勝成さんが(5位)、5年生男子100mの冠成さんが(6位)という結果でした。おめでとうございます。上位ではなかった児童も日頃の練習時から「ライバルは昨日までの自分」という気持ちで精いっぱい努力をしてきた力を出し切り、本番では自分の目標を達成できたと思います。また、応援を頑張った児童のみなさんも仲間のために声を出す姿がとても美しく素敵でした。頑張るみんなが主役の陸上競技大会だったと思います。



エプロンシアター(図書委員)



10月 22 日(水)、読書月間ということで、全校朝会では図書委員会によるエプロンシアターが開かれました。まず、はじめに勝成さんが「オオカミと7匹の子ヤギ」を披露してくれました。物語を音読してくれたのは真菜さんです。聞きやすい真菜さんの音読と、表情豊かな勝成さんの演技がとても上手で、鑑賞していた子供たちは、エプロンで展開されていく物語に引き込まれ、みんな笑顔になっていました。後半は、役割をスイッチして、勝成さんの音読と真菜さんのエプロンシアターで、「おむすびころりん」を鑑賞しました。これも、2人の優しい雰囲気が生かされており、とてもほっこりする時間となりました。

読書月間に入り、子供たちが興味を持ちそうな本を紹介してくれたり、今回のようにみんなが喜ぶエプロンシアターで物語の世界の楽しさを伝えてくれたりと大活躍の図書委員会の2人です。

